

事業所名 児童発達支援センターさんりんしゃ
 ※1名2枚目 無回答

公表:令和 3年 3月 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	7	1	活動場所を交代したり分けながらスペースが狭くならないように工夫しています。	設置基準は厳守していますが、活動内容によってはもう少し活動スペースがあるといいと思います。また次年度部屋の中の配置を変えるなど工夫をしていこうと思います。
	②	職員の配置数は適切であるか	10	3			同上
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13			お子さんに合わせてクラス毎に構造化しており、どこで何をするのかわかりやすく設定しています。また日々の活動の流れをわかりやすく提示しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	3		毎日の清掃時間+定期的に大規模な清掃、おもちゃ、課題等の消毒を行っています。	清掃についてはまだ不十分なところがあるので、清掃のサイクルを決めていないところなど、もう少し工夫を行っていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	2	1	職場内でアンケートを取り業務の効率化や支援内容の改善を図っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	1			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	1		毎年3月にホームページ上で公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	2	2	第三者による外部評価は行っていません。法人としては2事業所が外部評価を受けています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13			コロナ渦ではありましたが、オンラインで研修を行い、よりよい支援が行えるように努めています。	
適切な *	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12	1		特性や認知面、行動面、身支度などについての初期アセスメントを行い、状態像を把握し計画作成につなげています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	1		遠城寺式発達検査を半年に1回取っています。	

支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13				計画をチームで共有して支援を行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13				クラスや担当者、複数の視点で協議し、立案しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	4			曜日毎にプログラムを設定しています。また誕生会や季節行事等も行っています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	11	2			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	3			送迎や他業務で全員が揃って行くことはできていませんが、職員間で非公開のメッセージ機能を活用し、お子さんの様子や重要事項などを全員が確認できるようにしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	6	1		同上
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	1			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13				
	関係機関や保護者との連携関係機関や保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	1		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11	1			児童相談所や保健センター、病院などと連携を取りながら支援をすすめています。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	2		現在医療的ケアが必要なお子さんの利用はありません。重症心身障害のあるお子さんについては、行政や病院、他事業所の専門職の方などと連携を取り支援をすすめています。
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	2	2		
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13				引継ぎを保護者の方の了承を得てから行っています。

護者との連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	2		引継ぎを保護者の方の了承を得てから行っています。		
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	3	1	札幌市自閉症・発達障がい支援センターの機関支援を受けています。		
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	9	イベントなどでは地域の保育園や幼稚園などとの交流の機会は設けておりません。公園外出で、公園に来ているお子さんと一緒に遊ぶことがあります。		
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1	9		西区自立支援協議会の構成メンバー、市と西区の子ども部会の事務局員として積極的に参加しています。今年度は新型コロナウイルスの影響で集まることができませんでしたが、次年度はその中でもできることを一歩すすめて考えていきたいと思っています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	2	1	連絡ノートやお電話、懇談、家庭訪問の機会を設けて共通理解を図れるように努めています。		
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	5	5		保護者学習会や座談会の機会を設けています。ペアレントトレーニングを実施してほしいというニーズもあるので、実施できるように準備をすすめていけたらと思っています。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	1				
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12					
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12					
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	3	1	父母の会はありませんが、保護者学習会や保護者が参加できる行事、座談会などを行っています。	今年度はコロナ渦で予定していた会ができなかったり、規模を縮小しました。次年度も感染対策を取りながら、できることを考えていけたらと思います。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12				午前枠のご利用の方の連絡ノートは「電話がほしいです」というチェック欄を設け、保護者の方が相談しやすい工夫を行いました。家庭訪問や懇談、その他必要に応じて相談の機会を設定しています。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12				ブログ、通信等で写真を掲載し活動の様子が伝わるよう発信しています。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11	1			
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	1			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	4	招待することはありませんが、地域の会館などの社会資源を活用しております。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12			重要事項説明書や利用のしおりに載せて保護者に配布しています。また別に職員用マニュアルもあります。避難訓練は月1回程度行っています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12				
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12			契約時に持病などについては確認を行っています。投薬依頼書を保護者の方に書いていただいた後に投薬をおこなっています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	11	1		食物アレルギーがあるお子さんについては医師の診断書をもらっていただき、提供する食事やおやつなどの内容を考えます。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	1			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	1		虐待防止委員会が中心となって年2回ほどの研修を行っています。また毎日の朝の打ち合わせで3項目ずつ虐待防止のための文言を職員間で確認しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	3	2	身体拘束を行わないよう支援を考えています。	現在身体拘束といえる対応をするお子さんはありません。対応などについては虐待防止研修で意見交換をしています。継続して考えていきたいと思います。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。